

生徒指導部より～携帯電話利用の注意～

H28.04.12

本校では原則、『携帯電話の持ち込みは禁止』していますが、持ち込む場合は、電源を切り鞆に保管するか、担任が預かり校内では使用しないという指導を行っています。校内での利用は禁止ですが、家庭やプライベートで利用する際は利便性や危険性を十分に理解し、安心・安全に利用できるようにしましょう。

1. スマートフォンとは・・・パソコン並の機能を持った携帯電話

これまでの携帯に比べ処理速度が速く、情報量が多い。GPS 機能を搭載するなど高機能化が進んでいる。
スマートフォンからのインターネット利用が増加しています。(無線 LAN 経由でのネット通信が可能)

2. インターネットの特性や危険性を理解して利用しましょう。

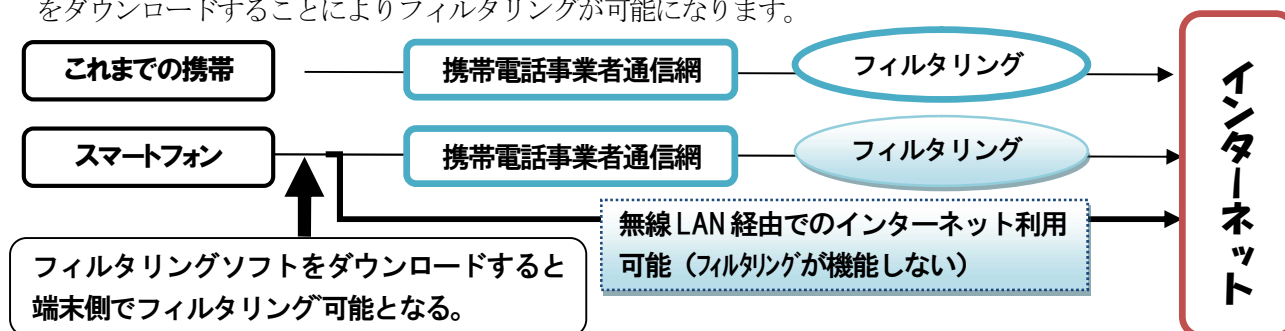
- 書き込んだ文章、投稿した写真はすべて公開されます。(公開される可能性があります)
- ネットに載った写真や文章は、あとから完全に削除することはできません。
- ネットは匿名の世界ではありません。発信記録から発信者を特定することができます。個人を特定できる。
- ネットには『悪意のある人』、『情報を拡散したがる人』がいます。※閲覧しているだけの人もいます。
大人が子どものふりをしてネット上で出会いを求める「なりすまし」の手口で事件に巻き込まれる危険性があります。ネット上で知り合った人には絶対に会わないようにしましょう。

3. フィルタリング機能、無線 LAN 経由での通信の注意

18 歳未満の子どもに携帯電話を使用させる場合、フィルタリングサービスの利用が義務づけられています。

携帯電話会社によりサービスの内容は異なりますが、出会い系サイトや有害サイトを通じた危険性のリスクを下げ、安全に使用できるよう保護者の責務として、フィルタリングサービスを利用してください。

※無線 LAN (Wi-Fi) 経由でのインターネット利用では、フィルタリングが機能しません。フィルタリングソフトをダウンロードすることによりフィルタリングが可能になります。



4. 無料のアプリに注意 ～ 『利用許諾画面』をよく確認してから『同意』しましょう。

無料のアプリケーションのなかには電話番号・メールアドレス・アドレス帳・プロフィール情報・画像情報など携帯電話の端末情報(個人情報)などが収集されている場合があります。個人情報データが利用されていることもあります。住所や位置情報が抜き取られた場合、犯罪者の標的になる恐れもあります

5. 携帯電話を持たせるうえで、親子で話し合い家庭での約束事を決めましょう。

携帯電話を持たせるうえで、家庭のルールを作りましょう。ルール作りは子どもと一緒に、ルール作りの必要性、利用目的や時間帯等を話し合って決めることが大切です。

『家庭のルール』具体例

- 困った時は直ぐに相談する
- 大事な機能の暗証番号は親が管理する
- 食事中は使用しない
- 名前や顔写真など、自分や友人の個人情報を書き込まない
- 月に1度は、利用状況を話し合う
- 利用する時間を決める
- 他人の悪口を書き込まない
- ネット上で知り合った人とは会わない

6. メール、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、コミュニティサイト利用の注意

トラブルに巻き込まれないように、サービスの仕組みや文字でのコミュニケーションの特性を理解しておく。

LINE でのトラブルを防ぐ設定

- アドレス帳送信は慎重に
- 「友だち自動追加」はオフ
- 「友だちへの追加許可」はオフ
- 「ID の検索を許可」はオフ
- 知らない人は「ブロック」

写真等は安易に投稿しない

写真や投稿に位置情報が付与されることがあります。撮影場所、投稿内容により投稿者の行動や自宅の場所が特定されたりすることがあります。安易に写真の投稿は行わないようにしましょう。

位置情報を OFF にする設定方法を知っておく。

書き込み・投稿の注意

インターネット上では「プライベート」な書き込みはない。匿名で書き込んでも発信者を特定することができます（発信者の記録が残る）。発信した情報は誰でも閲覧可能な場合もあり、書き込み内容は後で完全に削除することは不可能です。自分の将来に影響することもあります。

※企業によっては採用予定者の過去の書き込み・投稿をチェックしていることもあります。

書き込みや投稿の注意～自分の書き込みに責任を持つ

文字だけ、機器越しのコミュニケーションは誤解を生じやすい。他者を尊重する気持ち、書いて良いこと・悪いことの判断力を持つ。他者を傷つけるような書き込みをしない。

企業によっては採用予定者の過去の書き込み・投稿をチェックしていることもあり、書き込みや投稿の内容が自分の将来に影響することもあります。

- 『相手に面と向かっていえないようなことは言わない、書き込まない』
- 文字だけのコミュニケーションは文章表現力だけが頼り、誤解を生じることがある!!
- ネット上に載った、文章や写真は、あとで完全に削除することは不可能です!!
- 対面より気楽に言えてしまうこともある。「言い過ぎて」しまうこともある。
- 周囲の目があるなかでのやりとりで、「引っ込みがつかない」心理状態になることがある。

7. SNS やネットのつながりから抜け出せない『携帯電話・ネット依存』が急増

平成 25 年 8 月、インターネットへの依存が極めて高く、「病的使用」状態の中高校生が 51 万以上と推計されることが厚生労働省より発表されました。「すぐに返事をしなければ」と携帯を離せなくなったり、現実のコミュニケーションでは満たされない『反応』が嬉しく時間を忘れてのめり込み、学業や日常生活に支障をきたしてしまう人が増えています。上手にコントロールしながら賢く使う力を養うと共に、現実のコミュニケーションを大切にしていきましょう。

ルールやマナーを守り、安全・安心して携帯電話を使用できるようにしましょう

不安なことやトラブルがあったら、自分だけで悩まず、周囲の大人に相談しましょう。